



そよかせ

本日、2学期の終業式を迎えました。今年も残りわずかとなり、寒さが一段と厳しくなってきました。御家庭でも手洗いやうがいを中心掛け、生活のリズムを整えてお過ごしください。

副籍交流「間接交流」の御紹介

副籍交流の活動内容は様々で、本校の児童・生徒が地域指定校にて授業や行事に参加する「直接交流」だけでなく、「間接交流」に取り組んでいる児童・生徒もいます。

間接交流では、両校の学校だよりや行事案内を交換したり、児童・生徒の「紹介シート」を作成して、副籍学級に掲示したりしています。今年度は、交流学級の生徒と同じ書式で、本校の生徒も「紹介シート」を作成し、交流学級に掲示する事例もありました。

また、地域指定校で2学期から3学期にかけて行われる作品展に、本校の授業で制作した美術作品を出展する取り組みも行っています。本校の児童・生徒にとっても、地域の学校の行事に参加することは、互いを理解し、交流を広げる貴重な機会になっています。



理解推進授業について

副籍交流を行うにあたり、地域指定校の児童・生徒が本校児童・生徒への理解を深めるために、出前授業での理解推進授業を行っています。御要望をいただいた学校に対しては、副籍を置いているクラスだけでなく、体育館などに集まり学年全体に向けて授業をしたり、同学年の全クラスで1時間ずつ授業を行ったりすることもあります。

特別支援学校の特徴や学習内容について紹介するだけでなく、小学校中学年・高学年や中学校向けの理解推進授業では、「言葉を聞いて絵を描こう」や「絵描き歌」を体験してもらいます。

この活動をとおして、言葉だけでイメージするものは人によって異なること、そして相手に正しく伝えるためには、具体的で簡潔な表現が大切であることに気付く児童・生徒や先生方も少なくありません。

副籍交流や理解推進授業を通じて、共生社会への理解が深まることを期待しています。

交流の形態は様々ですが、今後も「お互いの『顔が見える』交流」を目指していきたいです。

御相談は、電話 042-384-6881

特別支援教育コーディネーターまでお気軽にお問い合わせください。